

2026 年 7 月 27 日

報道関係者各位

レック・テクノロジー・コンサルティング株式会社

レック・テクノロジー・コンサルティング、米国 RiverMeadow 社と リセール契約締結 最新 AI 主導「Lift & Optimize」に対応した 次世代クラウド移行(SaaS)の国内販売を開始

～ 移行コスト約 1/3・期間約 1/10 に加え、移行プロセスの過程で「OS 近代化・技術的負債解消」を自動化。SIer および導入企業のクラウドシフトを強力に支援 ～

レック・テクノロジー・コンサルティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長：紙屋 滋、以下「Re:Q」）と RiverMeadow Software, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、President & CEO：Jim Jordan、以下「RiverMeadow 社」）は、ハイブリッドクラウドおよびマルチクラウドへの移行サービス（SaaS）の日本国内におけるリセール（再販）契約を締結し、2026 年 7 月 15 日より国内販売およびプロフェッショナルサービスの提供を開始しました。

従来の単なる単純移行（Lift & Shift）ではなく、移行プロセスと同時に AI が分析を行い、OS のバージョンアップや構成適正化を自動で実行する「Lift & Optimize（移行と最適化）」を実装。これにより、SIer にとっては移行プロジェクトの工数削減と高付加価値化、導入企業にとっては移行完了初日からの本番稼働と運用コスト削減を同時に実現するマイグレーションサービスを提供します。

■「RiverMeadow クラウド移行サービス (SaaS)」の概要と特長

本サービスは、単なるデータ・システムの移動にとどまらず、移行プロセスと並行して AI 分析を行い、OS の自動アップグレードやリソース構成の適正化（ライトサイジング）を自動実行する「Lift & Optimize（移行と最適化）」に対応した移行プラットフォームです。

- 移行と同時にシステムの最適化・OS アップグレードを自動実行

移行プロセス中にワークロードを変換し、レガシーな Windows Server や Linux OS の自動アップグレード、および CPU/メモリ構成の最適化を実行します。移行完了初日から最適化された状態で本番稼働を可能にします。

- 「Any to Any」のマルチクラウド・異種環境間移行に対応

オンプレミス仮想基盤、各種パブリッククラウド間の相互移行に対応します。当初は AWS および HPE VM Essentials（HPE VME）への移行から対応を開始し、順次 OpenShift Virtualization、Google Cloud、Microsoft Azure、Oracle Cloud Infrastructure（OCI）へ対象を拡大予定です。

- AI 主導計画（AWS Transform）との連携と移行作業の自動化

AWS Transform の AI 分析により、現行環境の依存関係把握や構成推奨策を算出し、RiverMeadow の自動化エンジンへ引き継いで実行します。これにより、従来の手作業による移行と比較して移行コストを約 1/3、移行時間を約 1/10 に削減します（注 1）。

■ 本提携・サービス提供の背景と市場課題

現在、企業向け ICT システム分野においてクラウド導入は必須要件となっており、複数のオンプレミス仮想基盤やマルチクラウドを組み合わせた「適材適所」の IT インフラ運用が主流となっています。しかし、これに伴い発生する異なるプラットフォーム間のワークロード移行は、互換性や手作業による工数の肥大化から、極めて難易度が高いという課題がありました。

一方で、これまでのクラウド移行においては、自社保有環境（オンプレミス）の物理・仮想サーバをそのままクラウドに移動する「Lift & Shift」が主流でした。この手法は一見迅速ですが、実際には「老朽化した OS」「技術的負債」「過剰な構成スペック」などをそのまま移行先に持ち込むことになり、移行後に膨大なコストを伴う修正プロジェクトが必要になるなど、SIer および導入企業双方に重い技術的・コスト的負担がのしかかっていました。

こうした課題に対し、移行と同時に OS の近代化やインフラ適正化を自動で実行する「Lift & Optimize」は、移行当日から最適化されたクリーンな本番環境での稼働を可能にし、従来の技術的負債をプロセス内で一掃します。

■ 今後の販売戦略

Re:Q は、今回国内での本格販売を開始する「RiverMeadow クラウド移行サービス（SaaS）」を通じて、国内企業や SIer 各社が直面している「移行リソースの不足」と「技術的負債の解消」という二大課題にアプローチする、以下のような販売・提供戦略を展開してまいります。

- 初年度の販売目標（3,000VM へのサービス提供）

Re:Q の持つプロフェッショナルサービス体制を背景に、サービス提供開始から最初の 1 年間で「計 3,000VM（仮想マシン）」に対するマイグレーション・プロフェッショナルサービスの提供を計画・目標として掲げます。中〜大規模なシステム移行を検討するエンタープライズ企業や、大規模案件を抱える SIer をターゲットに展開します。

- SIer 各社との「共創モデル」の構築

国内の主要 SIer 各社に対し、RiverMeadow の自動化エンジンを自社サービスに組み込んでいただくよう、積極的な技術支援とアライアンスを推進します。SIer の限られたエンジニアリソースを上流工程へシフトさせ、移行プロジェクト全体のスピード向上とコスト削減に貢献します。

- AWS 等ハイパースケーラーの各種支援プログラムとの連携

AWS Transform をはじめとした、ハイパースケーラーが提供する AI 主導の移行計画アセスメントや「MAP（Migration Acceleration Program）」等の資金調達支援プログラムを Re:Q のインフラ構築知見と融合。導入企業の初期投資と移行コストを最小限に抑制する提案活動を行います。

- 「製品（SaaS） + プロフェッショナルサービス」のワンストップ提供

ツールのライセンス販売（リセール）に留まらず、難易度の高いレガシー移行を網羅するプロフェッショナルサービスをセットにした移行パッケージを提供します。これにより、「ツールの導入はしたものの、実際の運用で躓く」という国内移行プロジェクトにありがちなボトルネックを解消します。

■ SIer および導入企業における導入メリット

SIer（システムインテグレーター） にとってのメリット	エンドユーザー（IT 導入企業） にとってのメリット
1. 移行工数の削減と利益率の向上 移行計画から実行、OS 近代化まで自動化されるため、従来の手作業による移行エンジニアリング工数を極小化。プロジェクトの短期間化により利益率が向上。	1. 「技術的負債」を移行時に解消 移行した直後から、最新セキュリティ要件を満たした OS と最適化されたリソース構成で運用可能。移行後の「システム再改修プロジェクト」が不要。
2. トラブル・やり直しのない高信頼移行 エージェントレスで稼働システムを止めずにバックグラウンドで移行。また「マイグレーション成功保証（注 3）」により、SI パートナーとしてのデリバリーリスクを低減。サーバを介さない「セキュア直接移行（SDM）」でセキュリティも確保。	2. ビジネス・ダウンタイムの最小化 エージェントレス移行技術に加え、移行時に既存システムに影響を一切与えないため、業務停止リスクなし。
3. AWS 移行支援プログラム・資金調達の活用 AWS による移行アセスメント費用負担、ソフトウェアライセンス無償提供、移行サービス支援（MAP 資金等の活用）等のプログラムを組み合わせ提案力を強化。	3. 移行コストの最適化 AWS Transform や RiverMeadow のライセンスおよびアセスメント費用に対する AWS からの資金提供プログラムを活用することで、実質的な投資額を抑制可能。

■日本市場における Re:Q の位置付け

独立系 IT インフラコンサルティングの分野において、Re:Q は、特定のハードウェアやクラウドベンダー、特定の SIer の製品販売に依存しない中立的な立場から IT システム基盤構築を支援してきました。製品ありきの提案ではなく、顧客視点に立ったコンサルティングと技術力を強みとしています。

2026 年には、アジア太平洋地域におけるシステムインフラ構築分野での実績と専門性が評価され、米 IT 専門誌において「Top System Infrastructure Construction Professionals Services in Asia 2026（アジアにおけるシステムインフラ構築プロフェッショナルサービスのトップ企業）」としてカバー特集に選出されました。

今回の RiverMeadow 社との提携により、Re:Q が持つインフラ設計・移行技術力と、RiverMeadow の最先端マイグレーション自動化テクノロジーを融合させます。Re:Q は日本国内において、ツールのリセール提供にとどまらず、PoC 設計から移行計画、実移行、その後の最適化運用までをワンストップで担うパートナーとして、確実なクラウドモダナイゼーションを推進します。

なお、Re:Q が提供する本プロフェッショナルサービスにおいては、当初は「AWS」および「HPE VM Essentials（HPE VME）」への移行サポートから開始します。その後、国内のハイブリッド／マルチクラウド需要の多様化に合わせ、「OpenShift Virtualization」、「Google Cloud」、「Microsoft Azure」、「Oracle Cloud Infrastructure（OCI）」への移行についても、順次プロフェッショナルサービスの対象プラットフォームとして追加・拡張していく予定です。

■アジアトップクラスの技術集団「Re:Q」のプロフェッショナルサービスを融合

Re:Q は、製品ベンダーや特定の SIer とは一線を画す独立した立場で、顧客ニーズに添った IT システム基盤のコンサルティングおよび設計・構築を行っています。

本サービスにおいては、RiverMeadow の先進テクノロジーに対し、Re:Q が長年培ってきた「マルチクラウド基盤、サーバ、ストレージ、ネットワークの設計・構築技術、および移行ノウハウ」を組み合わせ、PoC（概念実証）の設計から、移行計画の策定、実際の移行実施、移行後の最適化運用までをワンストップで、包括的サービスとして提供します。

なお、Re:Q は、アジア太平洋地域における実績を評価され、米 IT 誌において「Top System Infrastructure Construction Professionals Services in Asia 2026」（2026 年アジア太平洋地域におけるシステムインフラ構築プロフェッショナルサービスのトップ企業）としてカバーストーリー（表紙特集）に選出されています。このインフラ技術力をもって、お客様のハイブリッド／マルチクラウド移行をサポートします。

■ 本提携にあたる Rivermeadow 社からのコメント

・米国 RiverMeadow Software, Inc. APAC シニアバイスプレジデント (SVP) ジーン・タン (Gene Tang) 氏のコメント

"Japan is a strategic market for RiverMeadow, and Re:Q is an ideal partner for RiverMeadow to jointly grow in the Japanese market to support Japanese enterprises and system integrators. RiverMeadow's automated, any-to-any migration platform will be a key differentiator for Re:Q, matching their deep infrastructure expertise, end-to-end delivery capability, and strong reputation. We look forward to supporting our joint customers to move to cloud and modernize as they migrate."

(日本語訳)

「日本は RiverMeadow にとって戦略的に極めて重要な市場であり、Re:Q は、日本企業やシステムインテグレーターの皆様を共同で支援し、共に成長していくための理想的なパートナーです。RiverMeadow が提供する自動化された『Any to Any』の移行プラットフォームは、Re:Q が持つ深いインフラの専門知識、エンドツーエンドのデリバリー能力、そして市場における評価と融合することで、強力な差別化要因となるでしょう。両社共通のお客様がクラウドへ移行し、同時にモダナイズ（近代化）を達成できるようサポートしていくことを楽しみにしています」

・RiverMeadow Japan カントリーマネージャー 川崎 真 氏のコメント

「日本では IT 人材の不足が長年の構造的課題となっており、クラウド移行においても、Lift & Shift によって技術的負債をそのまま移行先へ持ち込んでしまうという新たな落とし穴が顕在化しています。Re:Q 様が持つインフラ設計・移行技術と、RiverMeadow の『Lift & Optimize』を組み合わせることで、Sier の皆様には移行工数の削減と高付加価値化を、エンドユーザーの皆様には移行初日からの最適な本番稼働を、同時に実現できます。Re:Q 様とともに、日本企業のクラウドモダナイゼーションを力強く支援してまいります」

■ レック・テクノロジー・コンサルティング株式会社について

Re:Q は、マルチベンダー環境下において製品の販売・保守に依存しない中立的な視点から、企業の IT インフラ基盤の構築におけるコンサルティング、プロフェッショナルサービスを専門とする企業です。

2026 年には「CIOReview APAC」誌にて、アジア太平洋地域のトップインフラ構築プロフェッショナル企業として選出されています。

URL : <https://www.cioreviewapac.com/req-technology-consulting-2026>

■ RiverMeadow Software, Inc. について

シリコンバレー（米国カリフォルニア州）に本社を置く、物理/仮想/クラウド環境間のサーバ移行・モビリティおよび自動最適化に特化したソフトウェア開発企業です。2013 年にはガートナー社の「クール・ベンダー」を受賞。AWS をはじめとする大手グローバルパブリッククラウド事業者、サービスプロバイダ、代理店と提携を行っています。

URL : <https://www.rivermeadow.com>

（注 1） RiverMeadow の過去実績に基づく自動化移行と、従来の手作業による手動移行プロセスの比較。

（注 2） Graphical User Interface（グラフィカル・ユーザ・インターフェース）の略。

（注 3） 対象 OS および対象クラウド環境など、システム要件に合致している構成において、移行が完了するまでサポートを提供することを意味します。

商標について

- Amazon Web Services、AWS、および AWS Transform、AWS MAP（Migration Acceleration Program）は、米国および/またはその他の国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- HPE および HPE VM Essentials（HPE VME）は、Hewlett Packard Enterprise Development LP の登録商標または商標です。
- OpenShift は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標または商標です。
- Google Cloud は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Active Directory、SQL Server、Azure、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Oracle、Java、MySQL および Oracle Cloud Infrastructure（OCI）は、Oracle Corporation、その子会社および関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載されている会社名、製品名、サービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

以上

＜報道機関からのお問い合わせ先＞

レック・テクノロジー・コンサルティング株式会社

営業企画部

E-mail : info@reqtc.com